

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年10月24日更新

事務事業名		公園台帳整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	事業部	課長名	岩男 竜彦
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	合林 利晃
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全			所属班	都市計画班	(内線)	2234
予算科目	会計一般	款8	項4	目2	事業連番10131	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則	成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	施設状況等を把握する公園台帳の整備については都市公園法に規定されている。紙ベースの古い公園台帳を更新するとともにデータ化を行い、また、老朽化等による既存公園施設の改修等で現地と整合していない台帳の修正も行うものである(業務委託による整備)。 なお、開発による新規の公園については、開発業者において台帳を整備し納品することとしている。
【業務の流れ】	公園現地確認・基礎資料整理・見積徴収・委託業者決定・契約・検査・支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	従来の紙ベース台帳からデータによる台帳管理(台帳システム等)に移行していく流れもある

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	新規公園の台帳確認、名称決定(告示)をおこない業者と打合せ、概要確認・台帳整理・委託業者決定・見積徴収・契約・検査・支払い	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア: 台帳を更新した公園数	(単位) 箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	公園	(単位) 箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正に台帳管理を行うことにより現況を把握する	(単位) %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
公告を行った公園の台帳整備を行うことは必須であり成果を示す数値として適切であるとする		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	箇所	4	4	4	3	4	4	4	4	4	
	イ										
② 対象指標	箇所	174	179	182	184	186	190	194	198		
	イ										
③ 成果指標	箇所	174	179	182	184	186	190	194	198		
	%	100	100	100	100	100	100	100	100		
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	292	286	300	291	300	300	300	300
		(A) 事業費計	千円	292	286	300	291	300	300	300	300
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	175	163	199	0	199	199	199	199
トータルコスト(A)+(B)	千円	467	449	499	291	499	499	499	499		

事務事業名	公園台帳整備事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 活動指標である台帳更新4箇所に対し、公園規模や予算との兼ね合いもあり3箇所の更新しか行えていないが、台帳管理自体は適切に行われており、目標は達成している。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 適正な管理を行っており目標達成はできると考える
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 達成状態を維持するものとする
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 台帳のシステム化等を行うことにより人件費の削減の余地はあるが、システム化への初期投資が必要となるため、単純な事業費の削減は難しい
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在の台帳整備環境下において必要最小限の人件費であるため削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公の施設の台帳整備であるため公平といえる
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 本事業は公の施設の管理のために行うものであり役割分担は適正である

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

適切な台帳管理及び更新を行った。  
合併時の両町の様式統合ができていない面もあり共通様式に変更を行っているところである。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

開発行為等により公園が増えてきており、管理総数は年々増加している。また、施設に対する安全安心対策や長寿命化計画策定といった課題もある。  
現状維持に努めながら、費用対効果を踏まえて台帳システムの導入等を今後検討していく。

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策

【上記の(1)今後の事業の方向性 (改革改善案)と同】  
現状維持に努めながら、費用対効果を踏まえて台帳システムの導入等を今後検討していく。